

平成18年度「水・土壌環境保全功労者表彰」受賞者一覧

(個人 6名)

推薦者	氏名	主な功績	備考
富山県	かなやま もりお 金山 盛雄	平成4年に結成された「くろべ水の少年団」の指導者協議会会長として、全国名水百選に選定された「黒部川扇状地湧水群」に代表される黒部の名水の科学的調査と歴史の学習、河川海岸清掃及び黒部川の水生生物調査などを通じて、子供達への水への関心を高め、将来にわたって郷土の優れた水環境を保全・維持していく意識の醸成に尽力するなど、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
鳥取県	ないとうたけお 内藤 武夫	平成15年1月に「中海クリーンクラブ」をヨット愛好者とともに設立し、中海の毎月の定期清掃や、ヨット教室・魚釣りなど自然に触れ合いながらの実体験を通して広く子ども達に中海の自然環境及び水の大切さを指導する取組を行っているなど、水環境保全の普及啓発及び地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。	
福岡県	まつお ひろし 松尾 宏	福岡県保健環境研究所研究員として、畑地施肥に関する窒素及びそれに伴う物質の流動特性の解明と制御に関する研究に長年取り組み、この成果によって福岡県の畑地での施肥量が削減され、地下水汚染削減対策が推進された。また、その成果の波及は福岡県だけにとどまらず、近隣の自治体や韓国との共同プロジェクトにも発展し削減手法の有効性の確認と普及が図られるなど、水・土壌環境の保全に関する学術研究で顕著な功績をあげている。	
環境省 水・大気環境局 土壌環境課	ほそみ まさあき 細見 正明	国立公害研究所水質土壌環境部主任研究員、東京農工大学工学部教授等として、長年、土壌環境保全の研究に取り組み顕著な功績をあげているとともに、中央環境審議会土壌農薬部会委員や環境省の各種検討会委員として土壌環境保全技術の推進に多大な貢献をしている。	
	おおつか ただし 大塚 直	長年に渡り、法律面から環境問題の学術研究に関わり、特に平成12年度において環境省の「土壌環境保全対策制度の在り方に関する検討会」に参画し、また、現在は中央環境審議会土壌農薬部会、水環境部会等の委員として水・土壌環境保全行政に推進に多大な貢献をしている。	
	ひらた たてまさ 平田 健正	大阪大学工学部助手、国立環境研究所総合研究官、和歌山大学工学部長等として、長年、土壌環境保全対策技術の研究に取り組み顕著な功績をあげているとともに、中央環境審議会土壌農薬部会委員や環境省の各種検討会委員として土壌環境保全技術の推進に多大な貢献をしている。	